

2023年(令和5年) 7月 12日(水) 第2回例会(通算2984回)

## 2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪をひろげよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之

直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA)委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードンR.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥145

## 八重山の民謡

◎ <sup>バスイ トウレイ</sup> 鷺ぬ鳥 (本調子)(石垣市大川)

※石垣市大川二一八番地にある「与那国御嶽」の初代司「仲間サカイ」は御嶽の大木「アコウ木」に鷺の鳥の巣作りを発見し観察を続けていた。「サカイ」が五十歳で人頭税が免除になった「一七六二年」日もあろうに正月のほこらしい元旦の朝、親鷺と共に羽ばたきして、飛び立って東方目掛けて威勢よく飛んで行くのを見た「サカイ」は即興で「鷺ユンタ」を、詠んだと伝えられている。「サカイ」は秘的靈感の持ち主で神の託宣を受けたり、あるいは遠隔にある物の透視が適中したり、又、明和天津波の予言もしていたと言われている。百一歳でこの世を去った。それから八十年後の「一八四二年」役人で偉大な音楽家の「大宜見信智」が新川与人の時、それまで歌われていた「鷺ユンタ」を改作し「鷺ぬ鳥節」として音楽界に発表したのである。「信智」は七歳の時から首里で教育を受け二十五歳で帰省した。音楽の専門家は次のように語っている。『鷺ぬ鳥節のリズムを分析すると寂しいさや、悲しいさがなく音階を調べて見ても、哀調を帯びた琉球音階ではなしに、大陸的な五声音階からなっている。この、民謡を西洋音階に例えるならば「ベートベン」の第九交響曲に似ている。旋律の動き、流れが陽旋法から構成され、リズムが一拍子を主体としている。本調子でありながら「尺」を使わないで「中」を使う、この旋法は支那を中心に欧州に多く沖縄にはすくないが、八重山に多いのは中国の影響を受けたのを物語っている』あの雄大な歌詞を雄大なメロディーに載せたことが、芸術的価値を一層高めたのである。(作歌・作曲 大宜見信智)(八重山民謡誌より)

● <sup>ウフヤマ ウイ</sup> 大山ぬ上なか <sup>ナカヤマ スバ</sup> 中山ぬ側なか

(山々が続いている所に、中山が続いている側に)

● <sup>ウフ</sup> 大あこうぬ根ざすいに <sup>ナ</sup> 実りあこうぬ <sup>ムトウ</sup> 本ばいに

(大木のあこう木が根を張り、実りあこう木の根本から)

● <sup>ウフ</sup> 大あこうぬむやうり <sup>ナ</sup> 実りあこうぬさしやあり

(大木のあこう木が生えていた、実りあこう木が生えていた)

7月のプログラム

7/12(水) 沖縄分区分ガバナー補佐訪問

7/19(水) 休会

7/26(水) クラブ協議会

 例会日 水曜日 12:30~13:30  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

 例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
 TEL/FAX(0980)83-2917  
 E-mail [ishirotdary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishirotdary@ninus.ocn.ne.jp)

- ◇総会員数：54名（名誉会員2名・出席免除会員2名）
- ◇出席義務会員数：50名
- ◇出席人数：31名 欠席人数：19名 出席率：62.00%
- 《司会進行：新川正人・玉城一吉》
- ◇ロータリーソング：君が代 奉仕の理想
- ◇ソングリーダー：宮良 榮子
- ◇ピシタ -：大野 利美知（東京上野RC）

【第1回理事会】・2022-23年度決算報告・監査報告：承認  
 ・2023-24年度収支予算（会費引き上げ）：承認  
 ・新入会員：承認 ・年間計画概要：承認

◆ 会長挨拶 ◆  
 前原博一



2023-2024年 石垣ロータリークラブ会長を拝命致します。前原博一です。どうぞ宜しくお願い致します。

私は、石垣ロータリークラブに入会して、約11年になります。これまで会場監督(SAA)委員長、社会奉仕委員長などを務め、多くのクラブ活動を経験させて頂きました。

本年度は、クラブの会長として、また、石垣ロータリークラブのキャプテンとして、しっかりとクラブをまとめ運営していきたいと思っております。

私は、先月6月22日に52歳になりました。このような若僧が、歴史ある石垣ロータリークラブの会長が、務まるのかと、思い悩んでおりました。しかし、本日の会長バッチ引継ぎ式、そしてまさに、今、所信表明を行っている中、思い悩むことはもうありません。まさに開き直りました。もちろん、前向きな開き直りです。

本日は、所信表明の時間を25分ほど頂きましたので、少し人生を振り返りながら、会長としての、1年間の方針を、お話ししていきます。

まず、私が、石垣ロータリークラブの会員であり、さらに、今年度の会長を、務めることとなるのは、私の過去の人生を振り返って、考えてみても、まさに「奇跡」でしかありません。

想定外です。もちろん、前向きな「想定外」です。現在、石垣島で住んでいることも含めてです。

今から約25年前、当時25歳の時、「税理士」になろうと決めた時から、苦節15年、青春時代を試験勉強に時間を捧げました。いい年にも関わらず、就職もせず、バイトをしながら勉強していた期間もありました。ちょうど試験勉強をしていたころ、今の家内と出会いました。

アルバイトと、試験勉強の毎日でしたが、それでも合格することが出来ず、さすがに、アルバイトと試験勉強しているだけが、許される年齢的を超えてきましたので、就職し、そして結婚しました。新婚当初から、平日は仕事、夜は勉強、休日は家族サービスをするわけでもなく、終日勉強するという、生活が長く続きました。

今、思い起こすと、よく家内は、私の「税理士になりたい」とい

う夢のために、文句ひとつも言わずについてきたな。と、思います。私と家内は、沖縄本島で出会い、結婚し、那覇で生活をしていました。家内は石垣島の出身でしたが、その後、まさか、私が石垣島に移住することになり、また石垣島で試験に合格し、その後、事務所を開業することは想定もしていませんでした。沖縄本島であれだけ努力しても合格できなかった試験を石垣島にきて合格することができ、また、ここ石垣島で開業することになり、さらに、石垣ロータリークラブに入会させて頂き、今年度は、なんと会長になるのです。まさに奇跡でしょうか説明をすることが出来ないぐらいの思いです。あのころ、石垣島の出身の家内に出会いなかったら、また、試験に合格できずに諦めていたら、少しでも歯車が狂っていたら、私は今ここに立ってはいなかったでしょう。そう考えると、今この瞬間が「奇跡」であり「感謝の気持ち」でしかありません。

それでは、この「奇跡」と「感謝」の気持ちをもって会長の所信を述べます。

2023-2024年のテーマについて

国際ロータリー(RI) ゴードン・マッキナリー会長は「世界に希望を生み出そう」

希望がなければ、人は前に進めません。すべては希望から始まると信じているとしています。

2580地区 栃木ガバナー

基本方針として「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

合言葉を「ロータリアンの心に火をつけよう」

ロータリアンだからこそ得られる喜びや体験に価値があり、実践哲学である「中核的価値観を身に着け、何を奉仕したのか、ではなく、何を得たのか、どんな学びを得たのか、どんな喜びを得たのか、柔軟性をもって、少しでも周りの人に貢献できるよう、楽しいロータリーを再発見する旅に出かけよう。

石垣ロータリークラブ 今年度のテーマは

「奉仕の輪を広げよう」としました。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。

具体的には、次の4項目を奨励することにあります。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

私は、このロータリーの目的である「奉仕」そのものに重点を置き、その奉仕という輪を、クラブ活動を通して大きく、広げていきたい、との思いでこのテーマを掲げました。

この「奉仕」を各会員のロータリアン一人一人が、事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践し、続けていくためにも、同じ目的をもつロータリアンが、毎週行われる例会

に参加することで、例会を通じ、ロータリーの目的である「奉仕の理念」を確認し、続けていくことが、最終的には、奉仕という輪を広げることができる唯一の方法だと考えております。また、ロータリアンの存在そのものが、「奉仕」そのものであると考えております。つきまして、例会に一同に集まるのが、私の考える「奉仕の輪を広げよう」に繋がります。このことから今年度は「例会の出席率向上」を目指し、各回の出席率にこだわっていきたいと思います。

また、12月には、3,000回の記念すべき例会もあります。ぜひ、3,000回の記念すべき例会は出席率100%を実現させたいと思います。

これから始まる例会について、もちろん仕事の関係で参加することが出来ないこともあると思いますが、その時は、「メイキヤップ」もありますのでよろしくをお願いします。

以上が方針でした。

続きまして外部に対する奉仕活動計画に移ります。本年度の具体的な奉仕活動を4つ計画しております。

① 指田文庫の寄贈

竹富小中学校への文庫の寄贈です。

② 献血支援活動

沖縄県赤十字社献血センターが行う移動献血車での支援活動です。

③ 地域美化活動

海岸清掃を行います。

④ 財団地区補助金(現在は申請中)

波照間幼稚園・小中学校への教育活動に必要な機材・備品の支援

特に地域美化活動による海岸清掃については姉妹クラブにも声をかけ、タイミングがあえばともに奉仕活動を行いと考えております。

その他、奉仕活動以外にも、地域への貢献活動も取り入れたいと考えております。

具体的には、地域行事である(海神祭のハーリー)の出場や(石垣島マラソン)、石垣ロータリークラブとしてぜひ参加してみたいと思います。

さらに幻の「エイサー隊」も復活させたいと考えています。

1年間でいくつ実現できるか分かりませんが、やりたい活動を考えていると、とても1年では時間が足りないかもしれない、と思うと同時に、ワクワクした気持ちでいっぱいです。

国際ロータリー(RI)ゴードン・マッキナリー会長  
「世界に希望を生み出そう」

2580 地区 栃木ガバナー 「持続可能な元気なクラブを実現しよう」「ロータリアンの心に火をつけよう」

石垣ロータリークラブ 「奉仕の輪を広げよう」

希望を生み出し、ロータリアンの心に火をつけ、持続可能な元気なクラブを実現することで、例会を通じ、それが、奉仕の輪として広がっていく。

その実現のためにも、「例会出席率の向上」が、必要であり、「奉仕の輪をひろげよう」のために是非、皆様、例会の出席を

どうかよろしくをお願いします。

最後になりますが、これから1年間しっかりと会長として邁進してまいります。「奉仕の輪を広げよう」をテーマに頑張つて参ります。皆様、1年間、どうか宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

◆ 幹事挨拶・報告・今西 敦之 ◆

ここ数年、当クラブでは若い会員の方が幹事職を担われ活気溢れる素敵なクラブ運営をされて参りました。若干、初老の私が、前職の幹事をお手本とし、そしてスムーズなクラブ運営を目指して邁進していきたいというふうに思っております。幹事職ということでございますので、あまりしゃべらず、大酒も飲まず、皆様のクラブの楽しさと、そしてロータリーライフはより素晴らしいものになるように務めて参りたいというふうに思っております。また、本年度の理事役員の皆様と共に、切磋琢磨しながら、心に火をつけるような、会員の皆様の楽しいロータリーライフが発足できますように、全員で取り組んで参ります。どうぞ、この一年、至らぬ点、どんくさい点、多々あるかと思いますが、ご指導ご支援のほど、賜りますようお願い申し上げます。

幹事報告:1 点目、岡崎南ロータリークラブ会長よりご挨拶文が届いております。(読み上げ)本年度の前原年度につきましては、先ほど大野様よりお話がありました通り、東京上野RCの40周年、岡崎南RCの60周年と周年行事が2クラブございます。詳細につきましては、情報が入り次第、皆さまと共有させて頂きたいと思っておりますので、また改めましてご報告させていただきます。2 点目、先ほど第1回の理事会を開催させていただきました。議案と詳細につきましては、次週の週報に掲載させていただきますので、ご一読の方よろしく申し上げます。今日も一日よろしくお願いいたします。

◆ 会員・委員会からの報告 ◆

黒島剛プログラム委員長:前原会長からもありましたように、3,000回例会を会長はメインに掲げています。その3,000回例会の日程が決まりました。12月20日(水)、100%出席例会を行いたいと思います。この3,000回例会は、非常に歴史の重い3,000回例会にしたいと思っております。まずこちらのホテルが、南西グランドホテルに始まり、ホテル日航八重山、そしてアートホテル石垣島へ変わった歴史があります。その歴史が3,000回まで来ています。その日が12月20日(水)となっていますので、どういった用事があるがこの日だけは空けていただいて、皆さんで3,000回例会を開催いたしまししょう。よろしく願いいたします。

◆ご挨拶◆

国際ロータリー第2580地区 東京上野ロータリークラブ会長  
富坂伸吾様のご挨拶文:大野利美知様代読

石垣ロータリークラブの皆様へ

石垣RCの皆様、こんにちは。本日、大浜勇人パスト会長から前原博一会長へのハンマー伝達式が厳かに執り行われ、前原博一会長・今西敦之幹事の元、新年度初例会が開催されました事、誠におめでとございます。本来ですと、私富坂と幹事の新保が



貴クラブの例会に参加させて頂き、新会長の晴れ舞台でのご立派なお姿を拝見し、お祝いを申し上げたいところなのですが、どうしても都合が付き、楽着ながら書面を持ちましてお祝いを申し上げさせて頂きます。5月の連休明けからコロナも5類へと変わり、これまでの閉塞的な日々からの夜明けを迎えました。当クラブでは、私の会長方針を「ロータリーを学び、社会・地域に奉仕しよう」と致しました。この3年間のコロナの影響は、RCの例会や奉仕のあり方など、見えないところでも多大な影響を受けました。本年度は、原点回帰し、「ロータリアンとは何か」を見つめ直し、今一度「学びの心」を持って基本に立ち返って年間クラブを運営していく所存です。また、当クラブは創立40周年を迎え、2024年3月18日(月)浅草ビューホテルにて式典・祝賀会

を開催させて頂きます。その他にも大型の社会奉仕フォーラムの開催や高齢の旧奏楽堂コンサートなど様々な奉仕活動も計画中でございます。詳細が決定次第、貴クラブの皆様にもご案内させて頂きますので、是非多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

最後に改めて、貴クラブの例会に私と幹事の新保でお伺いさせて頂きたく、日程調整をしております。お忙しいとは存じますが、その際はどうぞよろしくお願い致します。

また、姉妹クラブとして、貴クラブとの共同奉仕活動も実施できたらと考えております。何卒、より一層の親交をよろしくお願い申し上げます。石垣ロータリークラブの益々のご発展と会員の皆様のご多幸とご健勝、そして事業繁栄をご祈念申し上げます。

## ～ 例 会 風 景 ～



東京上野 RC 大野 利美知 様  
ご来会ありがとうございました。



前原博一会長・今西敦之幹事 一年間よろしくお願い致します。

### 本日のニコニコ:

- ☆大野利美知様(東京上野 RC): 初例会に出席させて頂きます。今年度も両クラブの懇親をよろしくお願い致します。
- ☆今西敦之幹事: 一年間、ご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。東京上野 RC 大野様、ようこそおいでくださいました。どうぞゆっくりお過ごしください。
- ☆上勢頭保氏: 前原年度のスタート頑張ってください。上野 RC 大野さん初例会の参加に感謝です。
- ☆仁開一夫氏: 大野会員 今年度初例会メイクアップ有難うございました。
- ☆宮良榮子氏: 前原会長、今西幹事、宜しくお願い致します。楽しい例会にしていきたいと思います。感謝。
- ☆大浜勇人: 前原会長、今西幹事 新年度がんばっていきましょう。☆宮城早人氏: 前原会長、今西幹事の船出をお祝いいたします。
- ☆大田次男氏: 前原年度スタートおめでとうございます。盛り上がり行きましょ！ ☆松田新一郎氏: 一年間どうもありがとうございました。
- ☆新垣精二氏: 新年度スタートおめでとうございます。☆玉吉秀庸: 前原会長、今西幹事 一年間宜しくお願い致します。
- ☆新里裕樹: 前原会長・今西幹事 今年度、一年間よろしくお願い致します。☆西村剛志: 前原会長 今西幹事 一年間よろしくお願い致します。

◆BOX ¥22,000 (累計 ¥22,000) ◆コイン ¥0 (累計 ¥0) 合計 ¥22,000



櫻井 浩一 氏 5日(水)

前泊 正人 氏 6日(木)

